

# 豪州高配当株 ツインαファンド (毎月分配型)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合				
信託期間	2012年8月31日から2026年4月27日まで				
運用方針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。				
主要運用対象	外国投資信託である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド」および親投資信託である「T&Dマネープールマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。				
	<table border="1"> <tr> <td>クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド</td> <td>主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。</td> </tr> <tr> <td>T&amp;Dマネープールマザーファンド</td> <td>わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。</td> </tr> </table>	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。	T&Dマネープールマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。			
T&Dマネープールマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。				
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。株式への直接投資は行いません。				
分配方針	毎決算時(毎月25日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益(評価益を含みます。)が中心となる場合があります。				

## 運用報告書(全体版)(第22作成期)


第125期(2023年2月27日) 第128期(2023年5月25日)  
第126期(2023年3月27日) 第129期(2023年6月26日)  
第127期(2023年4月25日) 第130期(2023年7月25日)

### お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)」は、2023年7月25日に第130期決算を行いましたので、第125期から第130期の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

決算期	基準価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	クレディ・スイス・ ユニバーサル・ト ラ・ス・ト (ケイマン)Ⅱ・ 豪州高配当株・ ツインαファンド 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率						
第18 作成 期	101期 (2021年2月25日)	円 1,389	円 25	% 3.5	% —	% —	% 99.0	% 99.0	百万円 3,029
	102期 (2021年3月25日)	1,407	25	3.1	—	—	99.0	99.0	3,002
	103期 (2021年4月26日)	1,410	25	2.0	—	—	99.0	99.0	3,028
	104期 (2021年5月25日)	1,411	25	1.8	—	—	99.0	99.0	2,966
	105期 (2021年6月25日)	1,413	25	1.9	—	—	99.1	99.1	2,938
	106期 (2021年7月26日)	1,360	25	△2.0	—	—	99.2	99.2	2,786
第19 作成 期	107期 (2021年8月25日)	1,375	25	2.9	—	—	99.0	99.0	2,820
	108期 (2021年9月27日)	1,344	25	△0.4	—	—	98.9	98.9	2,690
	109期 (2021年10月25日)	1,388	25	5.1	—	—	99.1	99.1	2,706
	110期 (2021年11月25日)	1,367	25	0.3	—	—	99.1	99.1	2,596
	111期 (2021年12月27日)	1,336	25	△0.4	—	—	98.1	98.1	2,501
	112期 (2022年1月25日)	1,284	25	△2.0	—	—	98.9	98.9	2,443
第20 作成 期	113期 (2022年2月25日)	1,317	25	4.5	—	—	98.9	98.9	2,528
	114期 (2022年3月25日)	1,363	25	5.4	—	—	98.9	98.9	2,757
	115期 (2022年4月25日)	1,390	25	3.8	—	—	98.2	98.2	2,805
	116期 (2022年5月25日)	1,279	25	△6.2	—	—	98.7	98.7	2,920
	117期 (2022年6月27日)	1,226	25	△2.2	—	—	98.7	98.7	3,075
	118期 (2022年7月25日)	1,245	25	3.6	—	—	98.7	98.7	3,212
第21 作成 期	119期 (2022年8月25日)	1,237	25	1.4	—	—	98.7	98.7	3,330
	120期 (2022年9月26日)	1,194	25	△1.5	—	—	99.2	99.2	3,416
	121期 (2022年10月25日)	1,160	25	△0.8	—	—	98.7	98.7	3,462
	122期 (2022年11月25日)	1,194	25	5.1	—	—	98.7	98.7	3,668
	123期 (2022年12月26日)	1,122	25	△3.9	—	—	92.8	92.8	3,858
	124期 (2023年1月25日)	1,144	20	3.7	—	—	98.8	98.8	3,957
第22 作成 期	125期 (2023年2月27日)	1,134	20	0.9	—	—	98.8	98.8	3,863
	126期 (2023年3月27日)	1,032	20	△7.2	—	—	98.7	98.7	3,561
	127期 (2023年4月25日)	1,089	20	7.5	—	—	98.1	98.1	3,830
	128期 (2023年5月25日)	1,078	20	0.8	—	—	98.9	98.9	4,055
	129期 (2023年6月26日)	1,080	20	2.0	—	—	98.8	98.8	4,218
	130期 (2023年7月25日)	1,089	20	2.7	—	—	98.8	98.8	4,492

(注) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド組入比率
		円	騰 落 率			
第125期	期 首 (前期末) 2023年 1 月25日	1,144	—	—	—	98.8
	1 月末	1,152	0.7	—	—	99.0
	期 末 2023年 2 月27日	1,154	0.9	—	—	98.8
第126期	期 首 (前期末) 2023年 2 月27日	1,134	—	—	—	98.8
	2 月末	1,123	△1.0	—	—	98.5
	期 末 2023年 3 月27日	1,052	△7.2	—	—	98.7
第127期	期 首 (前期末) 2023年 3 月27日	1,032	—	—	—	98.7
	3 月末	1,071	3.8	—	—	99.0
	期 末 2023年 4 月25日	1,109	7.5	—	—	98.1
第128期	期 首 (前期末) 2023年 4 月25日	1,089	—	—	—	98.1
	4 月末	1,082	△0.6	—	—	99.0
	期 末 2023年 5 月25日	1,098	0.8	—	—	98.9
第129期	期 首 (前期末) 2023年 5 月25日	1,078	—	—	—	98.9
	5 月末	1,084	0.6	—	—	99.0
	期 末 2023年 6 月26日	1,100	2.0	—	—	98.8
第130期	期 首 (前期末) 2023年 6 月26日	1,080	—	—	—	98.8
	6 月末	1,094	1.3	—	—	99.3
	期 末 2023年 7 月25日	1,109	2.7	—	—	98.8

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

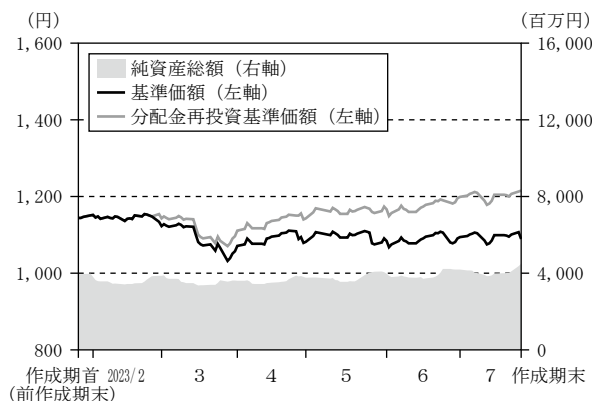
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 当作成期の運用状況と今後の運用方針

### ■ 基準価額等の推移



第125期首：1,144円

第130期末：1,089円 (既払分配金120円)

騰落率：6.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2023年1月25日) の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている外国投資信託において、豪ドルが円に対し上昇したことがプラス寄与した結果、基準価額 (分配金再投資ベース) は上昇しました。

### ■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	7.2%
T&Dマネーブルマザーファンド	△0.0

### ■ 投資環境

#### 【オーストラリア株式市況】

オーストラリア株式市場は下落しました。RBA (オーストラリア準備銀行) が2023年2月の理事会で政策金利を引き上げ、さらなる利上げを示唆したことが警戒されたほか、FRB (米連邦準備制度理事会) による利上げ長期化への懸念などから米株安の動きが強まったこと、欧米における金融システム不安などを材料に、作成期初から3月中旬にかけて株価は下落基調で推移しました。その後は、3月のRBA理事会議事要旨で金融政策方針がハト派へシフトしていることが確認されたことなどから株価は上昇し、4月のRBA理事会で2022年5月から継続してきた利上げの休止が決定されると、株価はさらに値を上げる展開となりました。しかし4月中旬には、インフレ懸念が強まるなか利上げ再開の可能性が意識され、株価は下落しました。その後は、海外株式市場の上昇を受けて、オーストラリア株式市場も上昇する局面もありましたが、RBAによる利上げや根強いインフレ懸念、消費の減速を示す経済指標などが弱気材料となって、株価は上下に振れる展開となりました。

## 【為替市況】

豪ドルは対円で上昇しました。作成期初から2023年3月下旬にかけては、オーストラリアの消費の減速を示す経済指標や、1月豪雇用統計で市場予想に反し雇用者数の減少、失業率の上昇が示されたことなどから、RBAが早期に利上げを停止するとの見方が強まるなか、豪ドルは円に対し下落しました。欧米発の金融システム不安を背景に市場のリスク回避姿勢が強まったことも豪ドル売りにつながりましたが、3月終盤には、米国およびスイス当局による銀行セクター安定化への取り組みが投資家心理の改善につながり、豪ドル高円安に転じました。その後は、RBAが4月の理事会で政策金利を据え置いたことを受けて豪ドル安円高となる局面もありましたが、3月の豪雇用統計が市場予想を大幅に上回る内容であったことや、オーストラリアと経済的なつながりの深い中国における経済指標の堅調さなどを材料に、豪ドルは円に対し上昇しました。5月には、日銀が大規模な金融緩和策を継続する姿勢を示した一方、RBAが予想外に政策金利を引き上げたことを受けて豪ドル高円安が進み、その後も、RBAによる利上げの継続、5月豪雇用統計の堅調さ、日銀が6月の金融政策決定会合で大規模な金融緩和策の維持を決定したなどを背景に、概ね豪ドル高円安基調で推移しました。

## 【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の $\Delta 0.17\%$ から作成期末は $\Delta 0.12\%$ となりました。作成期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

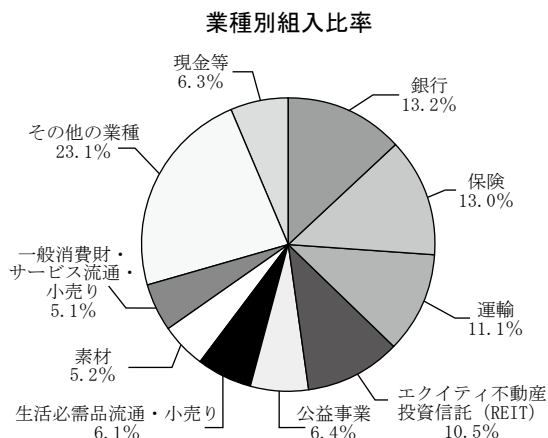
### 【当ファンド】

作成期を通じて、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド」を概ね高位に組入れ、「T&Dマネープールマザーファンド」にも投資を行いました。

### 【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド】

主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）への投資を行うと同時に、スワップ取引を通じて、オーストラリア株式市場全体（株価指数等）にかかるコールオプションを売却する「株式オプションα戦略」および、円に対する豪ドルのコールオプションを売却する「通貨オプションα戦略」を組合わせた運用を行いました。

＜クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンドの組入状況＞  
2023年6月30日現在（現地基準）



### 組入上位10銘柄

	銘柄名	業種	比率
1	AURIZON HOLDINGS LTD	運輸	5.2%
2	AUST AND NZ BANKING GROUP	銀行	5.2
3	MEDIBANK PRIVATE LTD	保険	5.2
4	TELSTRA CORP LTD	電気通信サービス	5.0
5	SCENTRE GROUP	エクイティ不動産投資信託 (REIT)	3.5
6	ATLAS ARTERIA	運輸	3.4
7	AGL ENERGY LTD	公益事業	3.4
8	SUNCORP GROUP LTD	保険	3.2
9	APA GROUP	公益事業	3.0
10	WOODSIDE ENERGY GROUP LTD	エネルギー	3.0

(注) 比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対する比率（リートを含む）です。

(注) 組入状況は、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに当社が作成したものです。

(注) 現金等は、未払金等が多い場合、マイナスになることがあります。

## 【T&Dマネープールマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コール・ローン等で運用を行いました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

## ■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第125期から第130期まで各20円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ■ 今後の運用方針

### 【当ファンド】

主要投資対象である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン $\alpha$ ファンド」への投資比率を高位に保ち、もう一方の投資対象である「T&Dマネープールマザーファンド」への投資も継続する方針です。

### 【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン $\alpha$ ファンド】

主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、「株式オプション $\alpha$ 戦略」および「為替オプション $\alpha$ 戦略」を活用し、引続き年率15%の目標オプション料（プレミアム収入）の獲得を目指します。

### 【T&Dマネープールマザーファンド】

日本経済は、雇用・所得環境が改善するもとで緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2023年 1 月 26日から2023年 7 月 25日まで)

費用の明細

項目	第125期～第130期		項目の概要
	2023/ 1 / 26～2023/ 7 / 25		
	金額	比率	
平均基準価額	1, 101円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 ( 投信会社) ( 販売会社)  ( 受託会社)	8円 ( 3) ( 5) ( 0)	0. 725% (0. 273) (0. 436) (0. 016)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	2 ( 2)	0. 169 (0. 169)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 ( 監査費用)	0 ( 0)	0. 007 (0. 007)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	10	0. 901	

(注) 作成期間の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

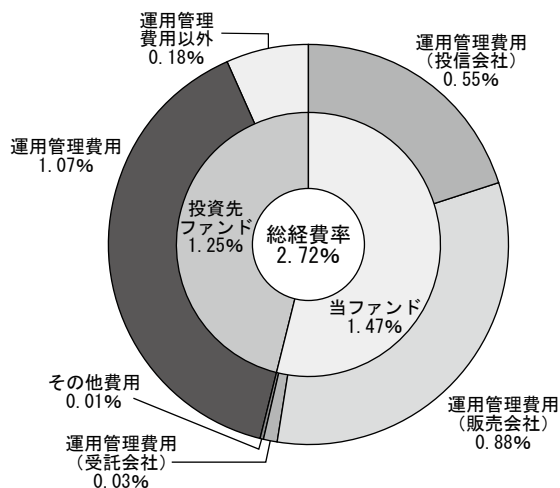
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券 (親投資信託を除く。) が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額 (原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。) を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額 (1 口当たり) を乗じた数で除した総経費率 (年率) は、2. 72%です。



総経費率 (①+②+③)	2.72%
①当ファンドの費用の比率	1.47%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.07%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.18%

(注) ①の費用は、1 万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券 (親投資信託を除く) です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



売買および取引の状況 (2023年1月26日から2023年7月25日まで)

(1) 投資信託証券

		第 125 期 ~ 第 130 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	口 2,623,522	千円 2,859,000	口 1,967,623	千円 2,172,453

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当作成期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等 (2023年1月26日から2023年7月25日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2023年7月25日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末 (第124期末)	当 作 成 期 末 (第 130 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツイン $\alpha$ ファンド	口 3,409,581	口 4,065,481	千円 4,436,659	% 98.8

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前 作 成 期 末 (第 124 期 末)	当 作 成 期 末 (第 130 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
T & D マネープールマザーファンド	千口 13,377	千口 13,377	千円 13,560

(注) T & D マネープールマザーファンド全体の受益権口数は233,795千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2023年7月25日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 130 期 末)	
	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツイン $\alpha$ ファンド	千円 4,436,659	% 88.6
T & D マネープールマザーファンド	13,560	0.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	555,168	11.1
投 資 信 託 財 産 総 額	5,005,387	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年2月27日現在 2023年3月27日現在 2023年4月25日現在 2023年5月25日現在 2023年6月26日現在 2023年7月25日現在

項 目	第125期末	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末	第130期末
(A) 資 産	4,196,300,407円	3,844,849,444円	4,182,607,339円	4,342,301,373円	4,613,547,940円	5,005,387,174円
コール・ローン等	364,509,923	317,481,515	411,993,313	319,590,397	430,431,281	555,167,044
クレディ・スイス・ユニバーサル・ トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ ツインαファンド(評価額)	3,818,227,508	3,513,804,953	3,757,052,387	4,009,149,337	4,169,556,358	4,436,659,829
T&Dマネーボールマザーファンド(評価額)	13,562,976	13,562,976	13,561,639	13,561,639	13,560,301	13,560,301
(B) 負 債	332,382,266	283,758,517	351,847,941	286,586,628	394,578,369	513,386,490
未 払 金	251,000,000	206,000,000	261,000,000	198,000,000	296,000,000	424,000,000
未 払 収 益 分 配 金	68,147,776	69,046,048	70,328,791	75,225,554	78,141,020	82,481,768
未 払 解 約 金	8,377,686	4,673,448	16,345,090	8,848,110	15,398,072	2,137,183
未 払 信 託 報 酬	4,805,669	3,996,495	4,129,975	4,465,355	4,985,912	4,716,711
未 払 利 息	562	468	620	614	895	1,188
そ の 他 未 払 費 用	50,573	42,058	43,465	46,995	52,470	49,640
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	3,863,918,141	3,561,090,927	3,830,759,398	4,055,714,745	4,218,969,571	4,492,000,684
元 本	34,073,888,471	34,523,024,314	35,164,395,933	37,612,777,235	39,070,510,192	41,240,884,025
次 期 繰 越 損 益 金	△30,209,970,330	△30,961,933,387	△31,333,636,535	△33,557,062,490	△34,851,540,621	△36,748,883,341
(D) 当 益 権 総 口 数	34,073,888,471口	34,523,024,314口	35,164,395,933口	37,612,777,235口	39,070,510,192口	41,240,884,025口
1万口当たり基準価額(C/D)	1,134円	1,032円	1,089円	1,078円	1,080円	1,089円

(注) 当ファンドの第125期首元本額は34,594,156,708円、第125～130期中追加設定元本額は35,074,131,897円、第125～130期中一部解約元本額は28,427,404,580円です。

(注) 元本の欠損

第130期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は36,748,883,341円です。

(注) 第130期末の1口当たり純資産額は0.1089円です。

### 損益の状況

自2023年1月26日 自2023年2月28日 自2023年3月28日 自2023年4月26日 自2023年5月26日 自2023年6月27日  
至2023年2月27日 至2023年3月27日 至2023年4月25日 至2023年5月25日 至2023年6月26日 至2023年7月25日

項 目	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期
(A) 配 当 等 収 益	62,033,251円	64,063,376円	65,961,266円	69,902,366円	74,062,403円	78,006,818円
受 取 配 当 金	62,042,504	64,069,147	65,964,983	69,911,164	74,072,540	78,015,901
受 取 利 息	154	154	321	-	-	-
支 払 利 息	△ 9,407	△ 5,925	△ 4,038	△ 8,798	△ 10,137	△ 9,083
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 27,085,742	△ 322,127,457	184,684,293	△ 40,482,473	946,598	35,511,742
売 買 損 益	1,011,887	3,940,749	196,253,575	3,675,314	3,840,571	40,885,729
売 買 損 益	△ 28,097,629	△ 326,068,206	△ 11,569,282	△ 44,157,787	△ 2,893,973	△ 5,373,987
(C) 信 託 報 酬 等	△ 4,856,242	△ 4,038,553	△ 4,173,440	△ 4,512,350	△ 5,038,382	△ 4,766,351
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	30,091,267	△ 262,102,634	246,472,119	24,907,543	69,970,619	108,752,209
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 1,510,776,552	△ 1,345,179,314	△ 1,508,203,800	△ 1,172,914,581	△ 1,042,022,865	△ 913,872,264
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 28,661,137,269	△ 29,285,605,391	△ 30,001,576,063	△ 32,333,829,898	△ 33,801,347,355	△ 35,861,281,518
(追加信託相当額)	( 3,812,231,685)	( 3,858,370,769)	( 3,927,871,067)	( 4,207,133,175)	( 4,371,342,973)	( 4,616,335,818)
(売買損益相当額)	(△32,473,368,954)	(△33,143,976,160)	(△33,929,447,130)	(△36,540,963,073)	(△38,172,690,328)	(△40,477,617,336)
(G) 合 計 (D + E + F)	△ 30,141,822,554	△ 30,892,887,339	△ 31,263,307,744	△ 33,481,836,936	△ 34,773,399,601	△ 36,666,401,573
(H) 収 益 分 配 金	△ 68,147,776	△ 69,046,048	△ 70,328,791	△ 75,225,554	△ 78,141,020	△ 82,481,768
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△ 30,209,970,330	△ 30,961,933,387	△ 31,333,636,535	△ 33,557,062,490	△ 34,851,540,621	△ 36,748,883,341
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 28,672,108,036	△ 29,294,626,616	△ 30,007,042,037	△ 32,343,665,436	△ 33,810,400,870	△ 35,869,031,904
(配当等相当額)	( 3,801,260,918)	( 3,849,349,544)	( 3,922,405,093)	( 4,197,297,637)	( 4,362,289,458)	( 4,608,585,432)
(売買損益相当額)	(△32,473,368,954)	(△33,143,976,160)	(△33,929,447,130)	(△36,540,963,073)	(△38,172,690,328)	(△40,477,617,336)
繰 越 損 益 金	△ 1,537,862,294	△ 1,667,306,771	△ 1,326,594,498	△ 1,213,397,054	△ 1,041,139,751	△ 879,851,437

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

## 分配金の計算過程

### 〔第125期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（57,177,009円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（3,812,231,685円）より、分配対象収益は3,869,408,694円（1万円当たり1,135円）であり、うち68,147,776円（1万円当たり20円）を分配金額としております。

### 〔第126期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（60,024,823円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（3,858,370,769円）より、分配対象収益は3,918,395,592円（1万円当たり1,135円）であり、うち69,046,048円（1万円当たり20円）を分配金額としております。

### 〔第127期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（64,862,817円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（3,927,871,067円）より、分配対象収益は3,992,733,884円（1万円当たり1,135円）であり、うち70,328,791円（1万円当たり20円）を分配金額としております。

### 〔第128期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（65,390,016円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（4,207,133,175円）より、分配対象収益は4,272,523,191円（1万円当たり1,135円）であり、うち75,225,554円（1万円当たり20円）を分配金額としております。

### 〔第129期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（69,087,505円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（4,371,342,973円）より、分配対象収益は4,440,430,478円（1万円当たり1,136円）であり、うち78,141,020円（1万円当たり20円）を分配金額としております。

### 〔第130期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（74,731,382円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（4,616,335,818円）より、分配対象収益は4,691,067,200円（1万円当たり1,137円）であり、うち82,481,768円（1万円当たり20円）を分配金額としております。

## 分配金のご案内

### 分配金および分配原資の内訳

（単位：円・％、1万円当たり・税引前）

項目	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期
	2023年1月26日 ～2023年2月27日	2023年2月28日 ～2023年3月27日	2023年3月28日 ～2023年4月25日	2023年4月26日 ～2023年5月25日	2023年5月26日 ～2023年6月26日	2023年6月27日 ～2023年7月25日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	1.733	1.901	1.803	1.821	1.818	1.803
当期の収益	16	17	18	17	17	18
当期の収益以外	3	2	1	2	2	1
翌期繰越分配対象額	1,115	1,115	1,115	1,115	1,116	1,117

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

## 補足情報

### T & D マネープールマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当作成期における売買はありません。

### T & D マネープールマザーファンドの組入資産の明細

当作成期末における組入れはありません。

## 組入投資信託証券の内容

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン $\alpha$ ファンド

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
基本運用方針	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体（株価指数等）のオプション取引（コールオプションの売却）および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。
投資態度	<p><b>[高配当株投資]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資を行います。</li> <li>主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。</li> <li>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> </ul> <p><b>[株式オプション<math>\alpha</math>戦略・通貨オプション<math>\alpha</math>戦略]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スワップ取引を通じて、実質的に豪州株価指数等*を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。 *市場環境によっては、豪州株保有銘柄を対象とする場合があります。</li> <li>スワップ取引を通じて、実質的に豪ドル（対円）を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。</li> <li>原則として概ね保有する豪ドル建資産の評価額程度のコールオプションの売却を行います。</li> </ul> <p>※資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。</p>
主な投資制限	<p>転換社債、ワラントへの投資は行いません。</p> <p>同一発行体への投資割合は、原則として、純資産総額の10%以下とします。</p> <p>同一業種への投資割合は、原則として、純資産総額の35%以下とします。</p>
分配方針	原則として、毎月分配を行います。
投資顧問会社	クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド（各オプション $\alpha$ 戦略の運用）
副投資顧問会社	<p>フランクリン・templton・オーストラリア・リミテッド*（豪州高配当株の運用）</p> <p>※フランクリン・templton・オーストラリア・リミテッドの株式運用部門は、マーティン・カリー・オーストラリアのブランド名で事業活動を行っています。</p>

※次ページ以降の記載は、バンクオブニューヨークメロン証券株式会社およびザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手した情報をもとに作成しております。(1)は監査済報告書を当社が一部翻訳したもの、(2)は保有明細をもとに当社が作成したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) 損益計算書

計算期間：2022年2月1日～2023年1月31日

単位：円

収益

受取配当金	136,347,661
受取利息	4,890
スワップ取引に係る収益・費用	21,305,156
投資に係る純損益	290,187,316
<b>投資純損益</b>	<b>447,845,023</b>
その他収益	2,999,519
外国為替取引に係る純損益	( 459,288)
<b>収益合計</b>	<b>450,385,254</b>

費用

投資顧問料	14,817,583
その他費用	5,463,779
取引手数料	2,999,519
管理・保管費用	14,958,730
事務代行手数料	1,848,636
運用報酬	638,083
<b>運用費用合計</b>	<b>40,726,330</b>
税引前損益	409,658,924
源泉徴収税	( 3,172,906)
キャピタルゲイン課税	( 94,595,063)
<b>期中の純資産変動</b>	<b>311,890,955</b>

(注) 日付は現地基準です。

(注) ( ) 書きは負数です。

## (2) 組入資産の明細

作成基準日：2023年1月31日

## 1. 株式現物

銘柄名	株数	評価額		業種
		株	円	
COLES GROUP LTD	55,448		90,237,009	食品・生活必需品小売り
ATLAS ARTERIA	195,728		123,036,203	運輸
INGHAMS GROUP LTD	144,235		38,328,736	食品・飲料・タバコ
AUST AND NZ BANKING GROUP	77,750		178,754,467	銀行
WESTPAC BANKING CORP	33,658		73,157,497	銀行
TELSTRA CORP LTD	524,971		196,268,824	電気通信サービス
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	56,280		51,880,949	銀行
BHP GROUP LTD	20,537		92,927,432	素材
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	151,249		61,952,078	小売
TRANSURBAN GROUP	62,221		78,738,386	運輸
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	7,673		77,383,889	銀行
CHARTER HALL RETAIL REIT	70,240		25,681,078	不動産
APA GROUP	111,173		107,576,916	公益事業
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	133,217		59,815,202	保険
G. U. D. HOLDINGS LTD	59,446		45,430,188	自動車・自動車部品
GPT GROUP	130,803		54,536,209	不動産
GWA GROUP LTD	128,661		25,583,650	資本財
DOWNER EDI LTD	134,095		46,324,398	商業・専門サービス
WORLEY LTD	23,393		33,118,469	エネルギー
SUNCORP GROUP LTD	84,830		97,399,423	保険
MONADELPHOUS GROUP LTD	17,264		22,005,153	資本財
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	40,926		119,219,054	銀行
PERPETUAL LTD	6,142		14,368,667	各種金融
JB HI-FI LTD	14,032		62,207,290	小売
INSIGNIA FINANCIAL LTD	243,383		77,834,387	各種金融
QBE INSURANCE GROUP LTD	62,424		78,594,865	保険
STOCKLAND	159,696		57,509,876	不動産
WESFARMERS LTD	15,777		71,779,350	小売
ALUMINA LTD	514,260		73,748,456	素材
WOOLWORTHS GROUP LTD	18,327		60,591,786	食品・生活必需品小売り
SUPER RETAIL GROUP LTD	16,177		18,781,507	小売
MACQUARIE GROUP LTD	5,348		91,807,415	各種金融
AURIZON HOLDINGS LTD	472,557		159,785,149	運輸
STAR ENTERTAINMENT GRP LTD/T	196,515		34,934,399	消費者サービス
NINE ENTERTAINMENT CO HOLDINGS	472,979		87,981,982	メディア・娯楽
SCENTRE GROUP	517,110		144,523,550	不動産
WOODSIDE ENERGY GROUP LTD	41,587		138,178,743	エネルギー
LOTTERY CORP LTD/THE	132,380		57,013,287	消費者サービス
ENDEAVOUR GROUP LTD/AUSTRALIA	43,697		26,547,339	食品・生活必需品小売り
REGION GROUP	169,765		42,001,787	不動産
MEDIBANK PRIVATE LTD	520,674		140,271,379	保険
AGL ENERGY LTD	110,938		77,767,406	公益事業
SOUTH32 LTD	148,128		61,623,854	素材
VICINITY CENTRES	482,245		91,031,311	不動産
合計			3,368,238,995	

(注) 日付は現地基準です。

(注) リートを含みます。

## 2. スワップ

想定元本額	評価額
円	円
3,738,574,445	(119,200,914)

(注) ( ) 書きは負数です。



## T & D マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第37期（決算日 2023年6月12日）

（計算期間 2022年12月13日から2023年6月12日）

「T & D マネープールマザーファンド」は、2023年6月12日に第37期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

### 最近5期の運用実績、基準価額の推移等

#### 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産総額
	円	騰落中率 %			
33期（2021年6月10日）	10,148	△0.0	—	—	百万円 430
34期（2021年12月10日）	10,145	△0.0	—	—	409
35期（2022年6月10日）	10,143	△0.0	—	—	396
36期（2022年12月12日）	10,140	△0.0	—	—	348
37期（2023年6月12日）	10,138	△0.0	—	—	237

（注）基準価額は1万口当たり。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債券組入比率	債券先物比率
期首（前期末） 2022年12月12日	円 10,140	% —	% —
12月末	10,140	0.0	—
2023年 1 月末	10,139	△0.0	—
2 月末	10,139	△0.0	—
3 月末	10,139	△0.0	—
4 月末	10,138	△0.0	—
5 月末	10,138	△0.0	—
期 末 2023年 6 月12日	10,138	△0.0	—

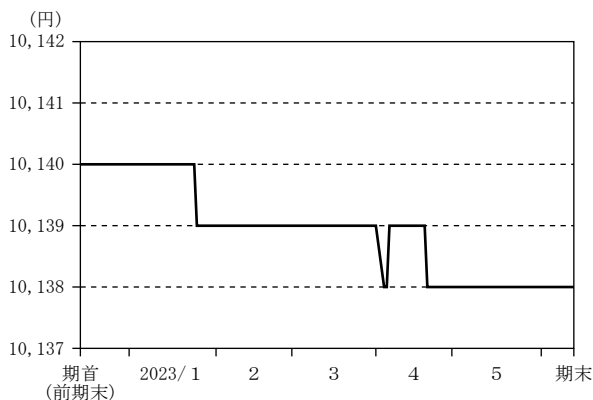
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 当期の運用状況と今後の運用方針

### ■ 基準価額の推移



### ■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,140円から期末は10,138円となりました。運用対象であるコール・ローン等の利回りがマイナスで推移したことから下落しました。

## ■ 投資環境

### 【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初、期末ともに△0.18%となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コール・ローン等で運用を行いました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

## ■ 今後の運用方針

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

### 1万口当たりの費用明細 (2022年12月13日から2023年6月12日まで)

当期において発生した費用はありません。

### 売買および取引の状況 (2022年12月13日から2023年6月12日まで)

当期における売買はありません。

### 利害関係人との取引状況等 (2022年12月13日から2023年6月12日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### 組入資産の明細 (2023年6月12日現在)

当期末における組入れはありません。

### 投資信託財産の構成 (2023年6月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 237,012	100.0 %
投資信託財産総額	237,012	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年6月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	237,012,095円
コール・ローン等	237,012,095
(B) 負 債	500
未 払 利 息	500
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	237,011,595
元 本	233,795,967
次 期 繰 越 損 益 金	3,215,628
(D) 受 益 権 総 口 数	233,795,967口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	10,138円

(注) 期首元本額 343,371,912円  
 期中追加設定元本額 0円  
 期中一部解約元本額 109,575,945円

(注) 1口当たり純資産額は1.0138円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳

T&Dインド中小型株ファンド	69,040,591円
米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)円ヘッジ・コース	1,653,709円
米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム・コース	19,809,785円
米国リート・プレミアムファンド(年2回決算型)マネーボール・コース	88,475円
豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)	13,377,036円
野村エマーゼンシング債券投信(円コース)毎月分配型	5,339,572円
野村エマーゼンシング債券投信(円コース)年2回決算型	1,731,068円
野村エマーゼンシング債券投信(米ドルコース)毎月分配型	6,884,550円
野村エマーゼンシング債券投信(米ドルコース)年2回決算型	1,424,313円
野村エマーゼンシング債券投信(豪ドルコース)毎月分配型	6,489,753円
野村エマーゼンシング債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	664,851円
野村エマーゼンシング債券投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	50,273,085円
野村エマーゼンシング債券投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	2,834,026円
野村エマーゼンシング債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	614,593円
野村エマーゼンシング債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	131,726円
野村エマーゼンシング債券投信(カナダドルコース)毎月分配型	555,674円
野村エマーゼンシング債券投信(カナダドルコース)年2回決算型	71,774円
野村エマーゼンシング債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型	23,292,362円
野村エマーゼンシング債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型	3,988,327円
野村エマーゼンシング債券投信(トルコリラコース)毎月分配型	15,489,184円
野村エマーゼンシング債券投信(トルコリラコース)年2回決算型	2,464,915円
野村エマーゼンシング債券投信(金コース)毎月分配型	3,974,765円
野村エマーゼンシング債券投信(金コース)年2回決算型	2,773,196円
野村エマーゼンシング債券投信(マネーボールファンド)年2回決算型	828,637円

### 損益の状況

当期 自2022年12月13日 至2023年6月12日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 84,940円
受 取 利 息	1,678
支 払 利 息	△ 86,618
(B) 当 期 損 益 金(A)	△ 84,940
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	4,814,623
(D) 解 約 差 損 益 金	△1,514,055
(E) 合 計(B+C+D)	3,215,628
次 期 繰 越 損 益 金(E)	3,215,628

(注) 損益の状況の中で

(D)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。